

東海市・知多市病院連携等協議会だより

No.6

第5回(最終回)協議会を知多市勤労文化会館で開催

報告書の内容(抜粋)

東海市・知多市病院連携等協議会が1月29日開催され、両市で進められている新病院の建設候補地の選定状況を報告。また、「新病院の姿」「再編等の進め方」「経営統合の形態」などについて報告書をまとめ、両市長に提出しました。

趣旨

東海市民病院と知多市民病院の経営状況は非常に厳しく、新病院建設を早期に実現することが、医師の確保や施設修繕経費の節減につながる



第5回協議会

るとともに、スケールメリットを生かした医療機能の向上が期待できる。

●新病院の姿について

地域完結型の中核病院としての役割を果たすために必要な500床程度の病床数を確保し、両市の市境付近の交通の利便に優れた場所にできるだけ早期に建設することが望ましい。

●再編等の進め方について

医療機能の向上、特に救急医療の確保を重点に、経営の改善と新病院への移行を円滑に実現していくための取り組みを着実に進める必要がある。

●経営統合の形態について

経営統合の方法については、速やかな実現に向けて両市が共同で設置している既存の一部事務組合「西知多厚生組合」への病院事業の移管が適当である。経営形態については、円滑な統合を考慮して現状の地方公営企業法の一部適用とするものの、新病院の運営に向けて地方公営企業法の全部適用や地方独立行政法人化の検討を考慮すべきである。

●新病院建設に向けた取組みについて

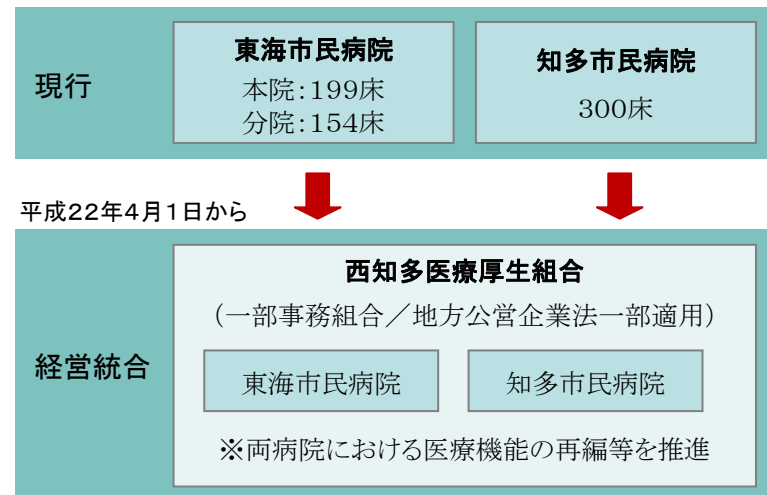
地域が必要とする医療機能のすべてを新病院が担うことは不可能であることから、地域の開業医などとの連携と役割分担により、新病

報告事項

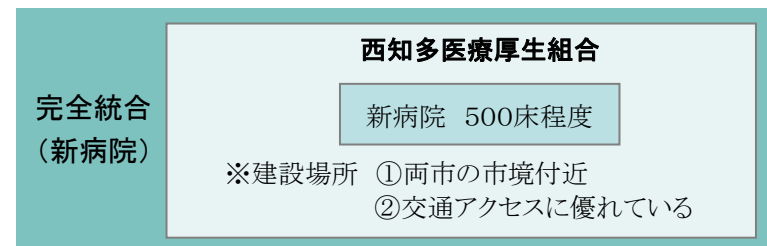
●新病院建設候補地の選定状況について
両市が選定した新病院の建設候補地として、院に必要な診療科や機能などを見極めた計画づくりを進めなければならない。また、開業医など地域の医療関係者と市民などが情報を共有し、お互いの立場や関わり方を相互に理解できる場を設け、医療に対する地域ぐるみの取り組みとなることが望まれる。

●新病院建設候補地の選定状況について
両市が選定した新病院の建設候補地として、

統合・再編についての流れ(イメージ)



経営統合後5年を目途に新病院を開院



皆さんの意見をお聞かせください。
東海市・知多市病院連携等協議会事務局
〒478-8640 知多市新知字永井2-1(知多市民病院内)
TEL (0562)55-1155(内線 5222、5223)
FAX (0562)55-1291
URL <http://www.city.chita.aichi.jp/byoren/>
E-mail byoren@city.chita.lg.jp

報告書は、協議会事務局で配布しているほか、ホームページで閲覧できます。

- ①高横須賀地区周辺(東海市高横須賀町・養父町)②信濃川東部地区周辺(東海市養父町、知多市平野・八幡)③緑町北部地区周辺(知多市緑町)④八幡東部地区周辺(知多市鎌が谷・三反田)の4地区を報告しました。

これまでの経緯

20年	21年	22年
7月	8月6日 2月17日	1月14日 12月17日 12月16日 12月15日 11月6日 11月2日
両市は単独では、地域医療を守り続けることが限界となつている現状を踏まえて、医療の専門家を中心とした「東海市・知多市医療連携等あり方検討会（以下「あり方検討会」）」を設置 あり方検討会開催（第1回）第6回）※あり方検討会は、両市民病院の経営や施設を完全に統合し、適切な場所に適正規模の新病院を建設することが、最も望ましいなどと報告	4月 両市は、両市民病院の経営統合による医療機能の再編等について具体的な協議を進めるため、「東海市・知多市病院連携等協議会（以下「連携等協議会」）」を設置 連携等協議会開催（第1回） 連携等協議会開催（第2回） 連携等協議会開催（第3回）。中間報告をまとめる 両市長へ中間報告を提出 両市長経営統合に向けて基本合意覚書締結 西知多厚生組合規約改正を東海市議会決議 西知多厚生組合規約改正を知多市議会決議	西知多厚生組合規約変更の県知事許可 連携等協議会開催（第5回）。両市長へ報告書を提出